

オリエンテーリング系

謎解きハイキング ～淡路の海と山にふれよう～



国立淡路青少年交流の家

<お問い合わせ先>

国立淡路青少年交流の家 企画指導専門職

E-mail : awaji-senmon@niye.go.jp

TEL : 0799-55-2696

謎解きハイキング

～淡路の海と山に触れよう～

■概要

グループで協力し、ポストに示された課題を解決しながら、淡路の自然を巡りゴールを目指します。(片道約3.4km)

■ねらい

- ◆淡路島の文化や自然の一端を発見する。
- ◆グループでの活動を通して、協力する姿勢を育む。
- ◆謎を解くことでグループの相互理解を促進する。
- ◆コースの中で発見される社会問題について意識する。

■準備物

準備物	必要数
●地図	グループ数
●問題・解答用紙	グループ数
●筆記用具	グループ数
●時計(指導者用)	1個
○水筒	人数分
○帽子	人数分
○タオル	人数分
△バインダー	グループ数
△自転車(パトロール用)	1～5台

■指導者、人数、費用など

対象	小学4年生以上
指導形態	団体指導者による指導
人数	制限なし
1グループ人数	～8人
費用	なし
実施時間	3時間
場所	所外
時期	1年中

■服装

運動ができる服装
履きなれた靴

※「地図」「問題・解答用紙」についてはHPよりダウンロード

- …必要なもの
- …あると良いもの
- △…交流の家にあるもの



■展開

		研修生の動き	団体指導者の動き
(10分) 導入	課題・ルールの説明	・グループとなって話を聞く。	以下のことを説明する。 【課題】 ・グループで地図上にあるポストを探し、課題を解決しながら目標時間を目指しコースを回る。 【ルール】 ・目標時間は130分 ・他のグループの行動から判断をしない ・グループ同士での情報交換をしない ・公道では広がらず、常に団体として行動する
(150分) 活動中	各グループに分かれて実施	・グループでポストを回り、課題を解決していく。	・グループを時間差でスタートさせ、それぞれの時間を計測する。 ・交通量の多い場所や間違った方向に行きやすいポイントに立つ。 ・グループの安全を管理するため、自転車等で巡回する。 ・ふりかえりのためにグループの変容に注意を払う。 ・グループの解答を確認し、点数を付ける。
(20分) まとめ	ふりかえり	・団体指導者による研修のまとめ、研修生の感想の発表などを行う。	・研修のまとめや発表に対するコメントなどを行う。

■留意点

安全上の留意点

- ・ 交通ルールを守り活動を行うよう指示し、安全管理を行うこと。
特に交通量の多いところでは巡回指導を行うなど、必ず声かけをし、注意を喚起すること。
- ・ 道に迷う場合があるのでグループの行動に注意すること。

指導上の留意点

- ・ 教育キャンプ場など、他人の土地に無断で立ち入らないようにすること。
- ・ 活動中は活動者の主体性を重んじ、安全面を除いては指導者からの介入は行わず、グループや個人の変容を観察すること。

■雨天時の対応

- ・ 実施可能

下記の要領を順守して活動を実施してください。

- 1 図中のA・B・Cに指導員を配置してください。
- 2 吹上決キャンプ場内のトイレ、自動販売機の使用はできません。(キャンプ場は、当所の管理施設ではありません。)
- 3 ホテルニューアワジ敷地内(黄色線)への侵入は禁止です。

※折り返し地点
記号はこのあたり
を見てね



ホテルニューアワジ
プラザ淡路島

※進入禁止※

他施設の敷地内のため

四季の

阿万吹上町

謎解きハイキング

阿万スポーツセン

国立淡路青少年
交流の家

吹上の浜